

大師道周辺地区まちづくりニュース 第2号

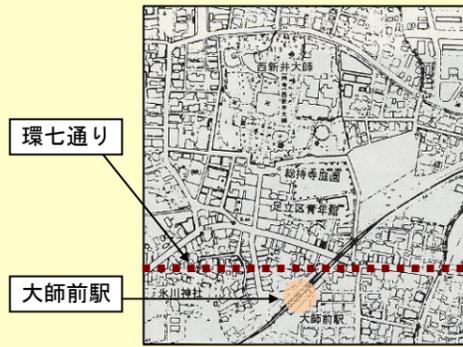
平成22年3月

発行：大師道周辺地区まちづくりを考える会

まちの豆知識② 知っていますか？「大師線」

昭和6年、西新井駅と上板橋駅を結ぶ“西板線”計画の一部として、西新井―大師前の区間が開通しました。現在の環七通りに沿って計画された西板線計画は、関東大震災やその後の急速な宅地化の進行等の影響により大師前―上板橋間の起業を廃止し、昭和22年に「大師線」と改称しました。

昭和43年の環七通り建設に伴う大師前駅の移転により、大師線の営業キロは従来より100m短い1.0kmとなり、全国的にみても営業キロの短い路線の一つとなっています。



環七通り開通前の西新井大師周辺図

出典：「足立区風土記稿 地区編2 西新井」（足立区立郷土博物館）

まちづくりを実感するための取り組み

前ページの取り組みメニュー（案）は、すぐに実施できるものもあれば、時間をかけて検討する必要があるもの、東京都や警察への要望が必要なものなど様々です。

「考える会」では、まちづくりを実感していくために“小さなことからコツコツと”実践していくことが大切だと考えます。

まず、次の3つの取り組みについて、実現に向けた検討を進めています。

◆案内サインの設置

つながり・賑わい 安全・安心 花と緑

平成22年度中設置予定！

足立区では、現在、西新井大師周辺の公共サイン計画づくりを進めています。

“西新井大師への道案内が欲しい”という意見が「まち歩き」でも多く出されました。「考える会」では、平成22年度中の大師道への案内サイン設置を要望していきます。



◆地域で行う清掃活動

つながり・賑わい 安全・安心 花と緑

5月30日実施予定！

足立区では、商店街（会）や事業所等を対象に、店舗の前を毎日掃除する下町の良き風習である「門掃き」（かどばき）を奨励、支援しています。

「考える会」では、5月30日、住民の皆さんと一緒に、大師道を中心に清掃活動を行う予定です。



◆シャッターアート事業

つながり・賑わい 安全・安心 花と緑

今夏実施予定！

シャッターアートは、芸術性の高い絵をまちに描いていくことにより、美化向上や商店街及びまちの活性化を目指す事業です。

区内の高校生等が参加し、商店や地区にふさわしい絵柄を学校と店が一緒になって考えて制作することが特徴です。今夏の実施を目標に、大師道でもシャッターアート事業を進めていく予定です。



今夏期待！

※大師道周辺地区のまちづくり、ニュースに関するご質問やお問い合わせは、右記事務局まで

ご意見をお寄せください

足立区都市整備部まちづくり課まちづくり推進係
〒120-8510 足立区中央本町 1-17-1
TEL：03-3880-5933（直通）
FAX：03-3880-5605

“つながりと賑わい” “安全・安心” “花と緑” をキーワードにまちづくり

「大師道周辺地区まちづくりを考える会」（以下、「考える会」）では、昨年11月に行った「まち歩き」で発見・確認した地区の現状（改善したいところ・よいところ）をふまえて、今後の地区のまちづくりの目標として次の3つのテーマを掲げました。



～まちづくりのテーマ～

- つながりと賑わいのある大師道
- 安心して住み続けられる安全なまち
- 花と緑のある散策したくなるまち

「考える会」は まちづくりの検討を進めています！

現在、「考える会」では、これらのテーマを実現していくために、どんな取り組みを、いつ、誰が、どのように実践していくか、検討を進めています。

この「まちづくりニュース第2号」は、「考える会」での検討を整理してまとめたものです。詳細は次ページをご覧ください。



◆まちづくりを実践しています！



「考える会」での意見をもとに、足立区では街路灯の清掃と電球交換を行いました。小さな取り組みですが、「考える会」で実践したまちづくりの第一歩です。

まちの現状からみた将来像・まちづくりのテーマと、具体的な取り組みメニュー（案）

※「考える会」での主要な意見をもとに作成しています。

